

ミヤコシ

## 凸輪機「MTL10A」に - のり面印刷装置搭載タイプ -

(株)ミヤコシ(千葉県習志野市津田沼、宮腰巖社長)はこのほど、小型の凸版輪転機「MTL10A」にのり面印刷装置を搭載しての販売を開始した。

同印刷機は最大印刷幅が 250mm、最大印刷速度が毎分 100m。版胴軸をモーターに直結するギアレス方式を採用しており、見当精度が高く、印刷物にギヤ目が出ない。さらにゴースト対策ローラー2本を追加しており、ゴーストが出にくい構造とした。

見当合わせは数値入力によるパネル操作を採用し、数値管理できるため、熟練工でなくとも操作しやすいという。

同社では以前からオフセット間欠輪転機の「MLP」シリーズへのり面印刷装置を搭載してきたが、今回はオフセットで培った技術を応用し、凸輪機への搭載となった。

装置は加工スピードが毎分 100m で、MTL10A の生産能力はそのままに、のり面印刷が可能だ。加工幅は 330mm や 250mm など要望によって対応する。印刷方式はフレキソと凸版から選択できる。

同社の担当者は「MTL10A はもともと、さまざまな印刷と加工をインラインで行なうことを目的に開発された。このため、のり面印刷ユニットを組み込むことも比較的簡単だった」と振り返る。

これまで、インラインでのり面加工装置を搭載した印刷機は少なかったというが「主に化粧品や医薬品などの POP ラベルの作成が増えているため、ここにきて引き合いが多くなっている」(担当者)。

同社ではすでに 2 台を納入済みで、さらにラベル業界向けに販売を強化する。

問い合わせは同社営業本部(☎047-493-3854)まで。

(2012 年 04 月 01 日 ラベル新聞 掲載)